

そうだ！これが 就活だったんだ

ゼミのOB・OGインタビュー

編 | 大東文化大学法学部
著 | 中村昭雄ゼミナール15期生

監 | 大東文化大学法学部教授
修 | 中村昭雄

大学生が就活本を作りました。

OB・OGが就活と仕事の本音を語った。
就活の失敗談、成功談、就職してからの
挫折の話など、役立つ情報が満載。
転職でキャリアアップした具体例を紹介。
高校生と保護者のための大学選びの参考本。
大学教育と「学びの本質」を問いかける実践録。



目次 そうだ！これが就活だったんだ ゼミのOB・OGインタビュー

| | | | |
|------------------|-----|------------------|-----|
| 監修者の言葉 | 4 | キャリアセンター事務室長と | |
| はじめに | 6 | 15期生の座談会 | 297 |
| インタビュー協力者一覧 | 8 | 大学教育とゼミ活動 | 307 |
| 中村ゼミのOB・OGインタビュー | 11 | 15期生紹介・研究から学んだこと | 319 |
| (1) 自動車・運輸・エネルギー | 12 | おわりに | 338 |
| (2) 金融 | 94 | 15期生研究スケジュール | 340 |
| (3) 人材育成・IT・サービス | 150 | インタビュー役割分担表 | 341 |
| (4) 公務員・教育 | 198 | 中村ゼミ略年表 | 342 |
| (5) 学生・主婦・その他 | 246 | 中村ゼミ研究成果 | 343 |

定価(本体1,000円+税)

監修者の言葉

本書『そうだ！これが就活だったんだ～ゼミのOB・OGインタビュー』は、中村ゼミナール15期生（3年生）の2012年度の研究成果です。

私のゼミナールの卒業生の会を「昭栄会」といいます。この会は、前任校の関東学園大学と大東文化大学で、私のゼミに所属したゼミ生が会員となっています。現在、約170名が会員です。この昭栄会の命名者は、私が関東学園大学時代に御指導いただいた浅野一郎先生（元参議院法制局長、元関東学園大学教授、元徳山大学学長）です。浅野先生には、今でも昭栄会の顧問をお願いしています。

さて、今回の中村ゼミ15期生の研究は、この昭栄会の会員に、就活の話、仕事の話を中心に、ゼミで学んだことなどについて、インタビューさせていただきました。

まず、今回お忙しい中、ゼミ生のインタビューにご協力をいただきました38名の方に、この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。

今回の依頼方法は、昭栄会の会員全員ではなく、首都圏を中心に、普段から連絡が取れている方を中心にお願いしました。その結果、38名の方からインタビューにご協力をいただけるという快諾を得ました。また、今回は結婚、出産、転居、仕事の都合などで慌ただしく、残念ながらインタビューに協力できないというお返事をいただいた方もいました。そういう皆様方にも、御礼を申し上げます。

さて、今回、なぜこのような研究テーマになったのかを、簡単に説明します。まず、昨今の厳しい就職状況があ

り、早いうちに就職に対する準備をする必要があると考えました。そのためには、どうしたら良いのかとを考えめぐらした時、「そうだ、一番身近にゼミの先輩がいる」と気が付き、「まずゼミの先輩から直に話を聞くのが一番いい」と思いついたのが、このテーマになった理由です。

ある先輩からは、「なんで今までのように地域研究をやらないのか」と聞かれたこともありました。確かに中村ゼミの今までの研究は、地域研究が多かったわけですが、必ずしも地域研究限定ではありませんでした。私が地域研究を進めてきた基本的な考えは、現場の第一線で活躍している人生の先輩から、直接、現場の生の貴重なお話を聞くことができるという、まさにフィールドワークからしか学べないことを、経験することでした。

今回も、多くのゼミの先輩から、就活のお話、仕事のお話、挫折のお話、ゼミのお話等々、直接、ゼミ生が生の体験談を聞かせていただきました。私は、これ以上の就活はないと考えています。従いまして、従来の研究と今回の研究は、ゼミの趣旨は全く変わっていません。

さて、今回インタビューにご協力いただいた先輩方には、ゼミ生が必ずしも十分な準備ができていない中で、失礼があったかと思いますが、この場を借りてお詫び申し上げます。それにもかかわらず、インタビューに快くお答えいただき、改めて御礼を申し上げます。皆様方の益々のご活躍を御祈念申し上げます。

2012年12月吉日

大東文化大学法学部 中村 昭雄

はじめに

大東文化大学法学部中村昭雄ゼミナールでは、代々地域に密着したフィールドワークの手法で研究を行い、その研究成果を研究本にまとめてきました。

今回の研究テーマは何にしようかと私たちも考えましたが、なかなかテーマを探すことができませんでした。5月下旬に先生から「ゼミの先輩にインタビューをするというテーマはどうですか」という提案がありました。先生が提案して下さったテーマに関心があると同時に、なかなかそれに代わるテーマを見つけることができませんでした。そして、先生にどういう意図があったのか、はっきりと分からないまま、このテーマで研究を進めることにしました。

地域から離れ、先輩方にお話を聞くということで、15期生の中にはこの研究のコンセプト(目的)は何かという不安や、ゼミの先輩にも「どうして地域から離れ、一番身近な先輩なのか」と疑問に思われた時もありました。本格的にインタビューが始まる前に、キャリアセンターの田口様やゼミの先輩がゼミにおいでになり、「応援するから、がんばりなさい」とメッセージをいただきました。

また、中村先生からも「今回のテーマは一見すると先輩方とは違うが、実は底に流れている中村ゼミの理念は全く同じだ。テーマは毎年違っているけれども、共通していることは、人と話をする、社会人とお話をする、その道のプロからお話を聞くということだ」とお話がありました。先生は、そういう人生の先輩方にゼミ生が直接会い、お話を聞くことを今まで大事にしてきました。そしてそこから学ぶということが、大学生として大事であることを教えてい

るのだと思いました。特に今回このテーマを私たちに勧めたのは、最近の就職状況の厳しさを心配してのことだということが、研究を進めていくうちに分かりました。

今回、私たちは特に就職活動や仕事について、また、ゼミで学んだことが社会人になってどう活かされているのかなどを中心に先輩方にインタビューをさせていただき、直接お話をお聞きしました。

6月に昭栄会の会員の115名にインタビューの依頼文を郵送し、インタビューにご協力いただいた先輩方は35組38名でした。さまざまな年代の方、業界の方に6月から10月にかけてインタビューさせていただきました。私たちが考えていた以上に、たくさんのことを学ぶことができました。中村先生がなぜフィールドワークを大事にしているか、実際にインタビューしてよく分かりました。

本書は先輩のインタビュー内容を主とし、そしてそこから私たち15期生が学んだこと、感じたこと、また「大学教育とゼミ活動」として、中村先生が今までゼミで行ってきたことを掲載しております。

この研究にあたりまして、首都圏の方、また遠方からおいでいただいた方や、Skypeという形でご協力いただいた先輩方もいらっしゃいました。ご協力をいただいた全ての先輩の方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

2012年12月吉日

大東文化大学法学部政治学科

中村昭雄ゼミナール

15期ゼミナール委員長 松澤沙由理

おわりに

中村ゼミナールでは、毎年3年次に共同研究という形でフィールドワークを実施し、その研究成果を本にまとめています。今までは板橋区や荒川区のものづくりや台東区のみちづくり、板橋区の洪水ハザードマップなど地域に根ざした研究を行い、本にまとめてきました。今回は地域から離れ、私たちの一番身近である「ゼミの先輩方にお話を聞こう」という、今までとは少し違ったテーマで研究を進めてきました。

中村ゼミナールは関東学園大学で4期生まで続き、大東文化大学では15期生まで続いています。今回、私たちは35組38名の方にインタビューにご協力いただきました。さまざまな業界の方々から直接お話をうかがい、たくさんのお話を学ばせていただきました。インタビューをすることは、私たち学生にとっては初めてのことで、うまくお話を聞きだすことができませんでしたが、先輩方は仕事に対する姿勢や人生論などを、私たちに熱く語って下さいました。それらは私たちが見習わなければならないことばかりでした。そしてインタビューを通して、先輩方に憧れを持ちました。インタビューの時にいただいた後輩に向けてのメッセージを胸に、就職活動をはじめ、残された大学生活を充実したものにしていきたいと思えます。

紙数の都合上、約1時間半のインタビュー内容を全て掲載することはできず、短く圧縮することとなってしまいました。先輩方がお話して下さった内容を、先生とゼミ生で何度も何度も読み直し、先輩方にも原稿を確認していただき、最終的にこのような形にまとめることができました。

本書を通して、中村ゼミの先輩方のすごさや、仕事の本質を読者の皆様に少しでもお伝えできれば幸いです。

この度は大変お忙しい中、私たちのためにインタビューにお答えいただいた先輩方に、改めて心より御礼申し上げます。また、私たちが中村ゼミナールの一員として現在もゼミ活動を行えるのは、先輩方が長年積み重ねて下さった研究成果のおかげです。誠にありがとうございます。

今回の出版にあたり、就職支援の立場からいろいろなアドバイスやご指摘をいただいたキャリアセンターの田口様、プロとしてインタビューの方法やマナーを教えて下さった大学院生の高野さん、佐々木さんにはこの場をお借りして、御礼申し上げます。

また中村先生には、お忙しい中、全ての原稿に目を通していただき、誠にありがとうございました。この研究は、中村先生のご指導なくしては決して作り上げることはできませんでした。先生が19年間、ゼミ生に対しての考えや、教えを変えずにゼミ活動を続けてきて下さったのおかげです。本当に感謝しております。

最後に、本書の出版にあたり、共立印刷株式会社の尾形様にはたくさんのご迷惑をおかけしました。大変細やかなご指導をしていただき、おかげで出版という大変貴重な経験をさせていただきました。中村昭雄ゼミナール15期生を代表して、御礼申し上げます。

2012年12月吉日

大東文化大学法学部政治学科

中村昭雄ゼミナール

15期ゼミナール委員長 松澤沙由理

15期生研究スケジュール

| | |
|-----|---|
| 4月 | 仮テーマ決定 「そうだ！ゼミの先輩にお話を聞こう」 |
| 5月 | インタビュー質問項目の検討、決定 インタビューマニュアルの確認 |
| 6月 | 依頼文を作成、郵送 インタビューの日程調整 インタビュー開始 |
| 7月 | インタビューの日程調整 夏休み中、先輩方にインタビューを実施 |
| 8月 | テープ起こし |
| 9月 | インタビュー実施 テープ起こし 夏期合宿で中間発表を行う |
| 10月 | インタビュー実施 テープ起こし原稿の添削作業 印刷会社に原稿を提出 |
| 11月 | 組見本で原稿が完成 初校原稿チェック |
| 12月 | 再校原稿チェック 先輩方に原稿郵送、確認依頼 |
| 1月 | 三校原稿チェック 念校・責了 |
| 2月 | 研究本完成 昭栄会でお披露目 |

中村ゼミ研究成果

【関東学園大学】

- 1993年「私たちはアジア人」(2期)
1994年「戦後50年 証言でつづる50年前の太田」(3期)
1995年「女性と太平洋戦争」(4期)

【大東文化大学】

- 1998年「サッカーくじの政治力学」(1期)
1999年「高島平団地の未来～少子高齢化のゆくえ～」(2期)
2000年「商店街の再出発～板橋のまちづくり～」(3期)
2001年「コミュニティとNPO～東京・板橋NPOガイド～」(4期)
2002年「まちを温かくするコミュニティビジネス～東京・板橋・学生発～」(5期)
2003年「絶対負けない！」(6期)
2004年「町工場は生き残った！」(7期)
財団法人板橋区文化・国際交流財団から「区民文化特別賞」を受賞。
2007年「学生の目から見た商店街活性化のヒント」(8期)
2008年「ローカル・マニフェストによる地方政治の活性化」(10期)
2009年「変わる！荒川区のものづくり」(11期)
青桐賞を受賞。東京MXテレビで報道。
2010年「観光都市・たいとう 学生が考えるまちづくり」(12期)
2011年 ブックレットNo.1「板場区の産業・ものづくり」(13期)
ブックレットNo.2「大東文化大学出身の政治家」(13期)
2012年 ブックレットNo.3「地域でつくる防災マップ～板橋区洪水ハザードマップ」(14期)
第2回「e防災マップコンテスト」で、優秀賞を受賞。

中村ゼミ略年表

| | 中村ゼミ | 中村先生 | 昭栄会 |
|--------|-----------|----------|----------------------|
| 1980.4 | | 立正短大着任 | |
| 1990.4 | | 関東学園大学着任 | |
| 1992.4 | 関東学園 1 期生 | | |
| 1993.4 | 2 期生 | | |
| 1994.4 | 3 期生 | | |
| 1995.4 | 4 期生 | | 第 1 回昭栄会(1995.11.25) |
| 1998.4 | 大東文化 1 期生 | 大東文化大学着任 | 第 2 回昭栄会(1998.1.25) |
| 1999.4 | 2 期生 | 法学博士号取得 | |
| 2000.4 | 3 期生 | | 第 3 回昭栄会(2000.1.23) |
| 2001.4 | 4 期生 | | |
| 2002.4 | 5 期生 | | 第 4 回昭栄会(2002.1.20) |
| 2003.4 | 6 期生 | | |
| 2004.4 | 7 期生 | | 第 5 回昭栄会(2004.7.11) |
| 2005.4 | 8 期生 | | |
| 2006.4 | 9 期生 | | |
| 2007.4 | 10 期生 | | 第 6 回昭栄会(2007.1.28) |
| 2008.4 | 11 期生 | | |
| 2009.4 | 12 期生 | | 第 7 回昭栄会(2009.1.25) |
| 2010.4 | 13 期生 | | |
| 2011.4 | 14 期生 | | 第 8 回昭栄会(2011.1.15) |
| 2012.4 | 15 期生 | | |
| 2013.4 | 16 期生 | | 第 9 回昭栄会(2013.2.9) |

1996.9 ~ 1997.9 留学(ユタ大学、トロント大学)

2004.9 ~ 2005.9 留学(ユタ大学、ビクトリア大学)

監修者

中村 昭雄 (なかむらあきお)

1949年 埼玉県生まれ。

慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。

現在は、大東文化大学法学部教授、法学博士。

専攻は、政治学、政治過程論、政策過程論。

講義は、ディスカッション・スタイルの白熱講義がモットー。

フィールドワーク・現場主義を重視したゼミ、自治体との協働研究を推進。

主な著書

『基礎からわかる政治学』増補新装版 芦書房 2012年

『新版 日本政治の政策過程』芦書房 2011年

『基礎からわかる政治学』芦書房 2008年

『現代日本の行政と地方自治』(共著) 法律文化社 2006年

『危機管理と行政』(共著) ぎょうせい 2005年

『行政・大学連携による新しい政策形成』(編集代表) ぎょうせい 2003年

『国会入門』(共著) 信山社 2003年

<http://www.ic.daito.ac.jp/~nakamura/>

そうだ！これが就活だったんだ ゼミのOB・OGインタビュー

■発行日／2013年 2月 7日 第 1 刷発行

■監修者／中村昭雄

■編著者／大東文化大学法学部

中村昭雄ゼミナール 15期生

■発行者／中村昭雄ゼミナール

■印刷・製本／共立印刷株式会社

東京都杉並区和田 1-14-13

〒166-0012 TEL.03-3382-1211

URL : <http://www.kyoritsu-print.co.jp/>